

青森県立北斗高校 対 長崎県立長崎工業高校

■試合時間 1時間49分 ■備考 7回コールド

[illegible]

■ バッテリー

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
坪 口 直 樹	6	35	8	5	6	9

■ バッテリー

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
松 浦 勇 樹	7	31	5	6	7	1

1回戦駒沢球場の第1試合は、2年ぶり20回目出場の北東北地区代表・青森県立北斗高校と3年連続4回目出場の西九州地区代表・長崎県立長崎工業高校の対戦となった。2回長崎工業は二死二塁から8番小嶋の適時二塁打で1点を先制する。追いかける北斗は3回暴投で同点となる5番天目の適時安打で逆転に成功する。さらに7番池橋が2点適時二塁打を放つなどこの回打者12人の猛攻で7点を奪い試合の主導権を握る。5回には二死から連打で二塁の好機を作ると1番渡邊が2点適時二塁打を放ち暴投で自らも生還し10-1と点差を大きく広げる。3回以降無安打に抑えられていた長崎工業は6回敵失と6番下部の適時安打で2点を返すが反撃もここまで。北斗は6回に6番松浦の適時安打で1点をダメ押しすると7回の長崎工業の攻撃を0点に抑え7回コールド11-3で勝利した。一方敗れた長崎工業は2回1点を先制した後二死二塁の好機に追加点を奪えず試合の主導権を握れなかったことが何となく悔やまれる結果となった。